

報道機関各位

熊本大学

大学院社会文化科学研究科 第4回公共政策セミナーのお知らせ

震災からの復興を考える

—村は不幸を分け合うシステムたりうるか—

巨大地震の経験は、社会のあり方を考え直す手がかりを与えてくれます。災害に見舞われたとき、私たちがどのような社会に暮らしていたのかを再認識させられるからです。丸裸で激震の中に放り出され、何ヶ月も住居が定まらず、不安を抱え続けた熊本の人々の様子がテレビなどで報じられました。私たちの暮らす社会は、いつからこうなってしまったのでしょうか？そして、それはなぜなのでしょう？

本セミナーでは、中越地震で大きな被害を受けた新潟県山古志村（現・長岡市）の所在した古志郡の歴史を研究してきた、福島大学行政政策学類 荒木田岳准教授をお招きし、人と土地をめぐる村の性格の変化を歴史的に考察し、現代に生きる我々が見落としがちな「復興への視点」について考えを深めていきます。

ついては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

記

【日 時】平成28年12月8日（木）14：30～16：00

【場 所】熊本大学 文・法学部棟2階 共用会議室（熊本市黒髪2丁目40番1号）

【対 象】一般の方（興味がある方はどなたでも）

【参加費】無料

【申込方法】事前申込み不要

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

<http://www.gsscs.kumamoto-u.ac.jp/>

【お問い合わせ先】

熊本大学大学院社会文化科学研究科

社会人大学院教育支援センター

TEL：096-342-2390

E-mail：full1102@kumamoto-u.ac.jp

震災からの復興を考える 一村は不幸を分け合うシステムたいうるか

巨大地震の経験は、社会のあり方を考え直す手がかりを与えてくれる。災害に見舞われたとき、私たちがどのような社会に暮らしていたのかを再認識させられるからである。丸裸で激震の中に放り出され、何ヶ月も住居が定まらず、不安を抱え続けた熊本の人々の様子がテレビなどで報じられた。私たちの暮らす社会は、いつからこうなってしまったのであろうか？そしてそれはなぜなのだろうか？本セミナーでは、報告者の研究対象地(中越地震で大きな被害を受けた新潟県山古志村[現・長岡市]の所在した古志郡)の歴史を紐解きながら、人と土地をめぐる村の性格変化をあとづけ、現代に生きる我々が見落しがちな「復興への視点」について考えを深めていきたい。

日時 2016年12月8日(木)
14:30~16:00

場所 熊本大学 黒髪北キャンパス

文・法学部棟2階 共用会議室

講師 荒木田 岳(福島大学行政政策学類 准教授)

※ご来場の際は、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします

司会 奥住 弘久(熊本大学大学院社会文化科学研究科 教授)



【お問い合わせ】

熊本大学大学院社会文化科学研究科
社会人大学院教育支援センター

Tel/Fax:096-342-2390 E-mail:full1102@kumamoto-u.ac.jp

事前申込不要・参加費無料